

CCS COFFEE NEWS

Coffee &
Communication

8

2025

vol.583



今月の
コーヒー

8月のおすすめ

クリスタルマウンテン

キューバ共和国



クセがなく、バランスの良い飲みやすさ

キューバ共和国はカリブ海に浮かぶ熱帯の島国で、太陽の楽園とも呼ばれています。クリスタルマウンテンは、水晶の採掘地として知られる山脈で栽培されていることから、その名が付けられました。酸味、苦み、コクのバランスがととてもよく、クセのない飲みやすさが特徴です。

コーヒー業界の最新情報!

COFFEE TOPICS

2025年
8月版



オランダの大手銀行が発表

2025年の世界のコーヒー需要が減少

オランダの大手銀行「ラボバンク」が発表した四半期報告によると、コーヒーの原材料や輸送費などのコスト高騰を受けて、コーヒー関連の企業が価格に上乗せする動きが拡大。これにより2025年の世界のコーヒー需要は前年比0.5%減少する見通しと発表しました。

これに対し、ラボバンクの農業商品市場調査部門は、「コーヒー生豆の価格は歴史的高値から落ち着いてきたが、小売価格の上昇は依然として続いている」と指摘。その背景には、流通段階で価格転嫁に時間差があることが挙げられています。また、「アメリカやドイツなどの大規模市場では、需要が明らかに弱まっている」と述べました。

実際、2025年1月～3月期の世界のコーヒー輸入量は前年同期比で1.9%減少し、前の四半期(2024年10月～12月期)と比べても7%減少しています。

一方で、2025年10月～2026年9月期の世界のコーヒー生産量は約1億7,110万袋と見込まれており、前年度の約1億6,970万袋から増加する見通しです。

ラボバンクは、生産量の増加に対して需要が減少していることから、来年度はおおよそ140万袋の供給超過になると予測しています。



全米コーヒー協会が調査

自宅でのコーヒー飲用率が増加

全米コーヒー協会(NCA)が発表した「2024年 秋の全米コーヒーデータトレンド」によると、コーヒーを飲む人のうち、「自宅で飲むことが最適」と答えた人は80%にのぼり、「自宅以外で飲む」と答えた人は、わずか20%にとどまりました。

この1年、経済の大きな変動を背景に、コーヒーの消費は家庭内へと大きくシフトしています。インフレの進行もあり、こうした傾向は今年も更に強まると見られています。

こうした家庭内消費へのシフトを踏まえ、今後は“自宅で飲むコーヒー”に求められる価値や体験をどのように提供していくかが、ブランドや商品づくりの重要な視点の一つとなりそうです。



ハーバード大学とトロント大学の新研究

1日3杯のコーヒーで健康的な老化を

6月、アメリカのハーバード大学とカナダのトロント大学の共同研究チームは、「カフェイン入りのコーヒーを1日1～3杯飲んだ中年期の女性は、主要な慢性疾患に罹患せず、認知や身体、精神の健康状態が良好で老後を迎えられる可能性が高い」という研究結果を発表しました。

この研究では、約4万7,000人以上の女性の食事データを分析し、30年にわたって死亡率や疾病率を追跡しました。その結果、45～60歳の中年期に毎日コーヒー約3杯分に相当するカフェインを摂取していた女性は、健康的に加齢を重ねる割合が高いことが分かったそうです。

なお、この結果に対し、研究を主導したトロント大学のサラ・マダヴィ博士は、「今回の結果は興味深いものですが、単にコーヒーをたくさん飲めばよいというわけではありません。運動やバランスのとれた食事、禁煙など、健康的な生活習慣と組み合わせることで、より高い相乗効果が期待できるのです」と述べています。

帰ってきた！ COFFEE エッセイ もどき

弊社工場長が1997年10月号から2012年10月号まで連載していたエッセイがリニューアルして帰ってきました。

第8回 オープンカップリング

先日、商社主催の生豆新着ロットのオープンカップリングに参加しました。今回はアフリカ大陸で生産されたコーヒー豆を中心に、9カ国・計23種のカップリングを行いました。これだけの数のカップリングは久しぶりだったので、少し緊張しながら臨みました。

まず驚いたのが、参加者の多さです。以前の倍近い人数が集まり、弊社のようなコーヒーロースターだけでなく、自家焙煎店の方々の参加も目立ちました。また、カップリングの準備はほとんど商社の方が行っていたのですが、今回は参加者がブレイク（表面を覆うコーヒーの粉をスプーンで壊し、攪拌する作業）から泡取り（ブレイクの後に表面に浮かんだ泡を丁寧に取り除く作業）まで進んで行っていました。そうした周りの様子から、「早くカップリングしたい！」という熱意がひしひしと伝わってきました。

なお、今回最も多く出品されていたのはエチオピア産のコーヒーでした。生産エリアや精製方法によって風味特性が大きく異なるのはもちろんですが、同じ地区・同じ精製方法であっても農園ごとに違った個性を感じられる興味深いラインナップでした。中でも私が特に気に入ったのはコスタリカ産のイエローハニーでした。さわやかな果実味と、はちみつのようななめらかさが心地よく、印象に残る一杯でした。

今後もこのようなオープンカップリングに積極的に参加し、風味豊かで心に残る美味しいコーヒーを皆様にお届けできるよう努めてまいります。



CCSがお届けする今月のニュース

秋ブレンド「熟」 ドリップバッグも発売開始！

お店で提供するコーヒーにも、季節感を演出してみたいかがでしょうか。豊穣な実りの季節「秋」をイメージした「秋ブレンド「熟」」は、豊かで深みのあるコクと芳醇でまろやかな苦味が特徴です。四季ブレンドの中でも人気が高く、お客様に好評いただいております。

秋季限定コーヒー「熟」

袋タイプ 内容量:200g(豆)
ドリップバッグタイプ 内容量:10g(粉)
販売期間:2025年9月1日~11月末
納品可能期間:2025年8月中旬~11月中旬
※試飲用として40gをご用意しています。
※詳しくは営業担当までお尋ねください。



コーヒーの需要動向調査 喫茶店・カフェに微かな兆し

家庭内消費が定着する一方、
カフェ飲用にわずかな回復の兆し。

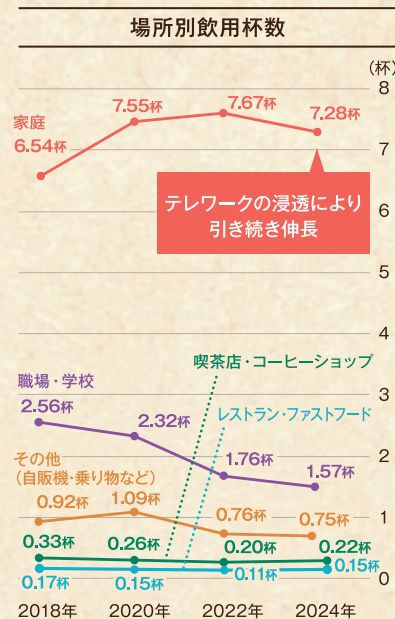
全日本コーヒー協会は「コーヒーの需要動向に関する基本調査」を発表（隔年）。

1週間あたりのコーヒー平均飲用杯数は10.05杯と、前回と比較すると0.55杯減少しました。要因は、コーヒーを「まったく飲まない」、「週に10杯以下のライトユーザー」の割合が増加したことです。

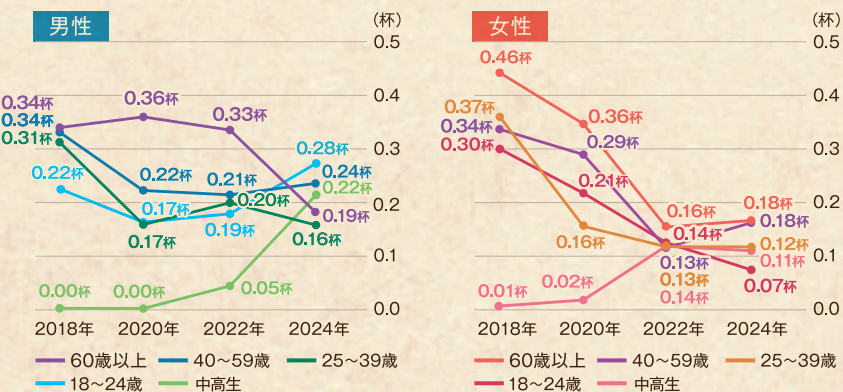
場所別の飲用杯数を見ると、家庭でのコーヒー消費は7.28杯と引き続き高水準で推移しています。コロナ禍により、家庭内での飲用が一気に拡大した2020年以降、その傾向は定着しつつあります。一方で、テレワークの浸透により職場・学校、自販機など外出先での飲用は、年々減少傾向が続いています。

そうしたなか、喫茶店・カフェにおけるコーヒー飲用は、長らく減少が続いていましたが、2024年はわずかですが0.02杯分の回復

を見せました。この数字は小さいものの、外出機会の回復や、喫茶店・カフェが持つ“非日常性”や“癒しの空間”としての価値が再評価され始めている兆しかもしれません。今後は、コーヒーを「ただ飲む場所」としてではなく、「居心地のよさ」や「過ごす時間そのもの」に価値を感じてもらうことが、より一層重要になっていくでしょう。



喫茶店・コーヒーショップにおける飲用杯数



※2020年までは紙での調査でしたが、2022年よりWEB調査へ変更されました。そのため、時系列の比較はその点を留意する必要があります。

LINEで発注できるサービス クロスオーダーのご案内

「クロスオーダー」とは、時間や場所を選ばず、LINEから気軽に注文できる発注システムです。弊社でも導入から半年が経ち、クロスオーダーを通じて注文して下さる店舗様も順調に増えております。

クロスオーダーでは、よく注文する商品をマイリストに登録できるため、発注の手間を大幅に軽減することができます。また、備考欄をご活用いただくことで、特注品のご希望なども担当営業に確実にお伝えいただけます。

導入をご検討されているお客様は、担当営業までお気軽にお声がけください。

利用料無料！

24時間いつでも発注可能



新メニューのアイデアにどうぞ！

直営店のイチオシメニュー

ほろ苦いレモン
ピールシロップと
バニラの甘味が
夏にピッタリ！

レモンワッフル

¥650(税込) 詳しくは営業担当へお問い合わせください。

美味しい
コーヒーの店
2025
認定店

喫茶店探訪

CCSコーヒーを扱う店を訪ねて

岐阜県 瑞穂市

ポニー

長きに渡り愛され続ける
居心地の良い店



開店から51年、地元で愛され続ける軽食・喫茶「ポニー」。こちらのお店は、常連さんの心落ち着く憩いの場で、店内は昭和の懐かしい面影が漂う温かな空間が広がります。お店の自慢の一つが、ネルドリップで丁寧に淹れたマイルドな口当たりのコーヒー。じっくり抽出される一杯が、心も体もリラックスさせてくれます。モーニングは、ふんわりサンドイッチに日替わりの寒天が添えられ、訪問が楽しみになる内容です。

また、ランチは味もボリュームも満点で、お腹も心も満たされること間違いなし。

時代を超えて愛されるこの空間で、ぜひ心地よいひとときを過ごしてみてください。



おすすめMENU

- ブレンドコーヒー ¥450
- アメリカンコーヒー ¥480
- ◆ モーニングサービス 6:00~11:30
(日・祝は7:00~11:30)
- ◆ ランチタイム 11:30~14:00
・日替わりランチ ¥780(ドリンク付きは¥880)

ポニー

住 所 | 岐阜県瑞穂市十九条325
アクセス | 樽見鉄道「十九条駅」から徒歩9分
電話番号 | 058-327-0024
営業時間 | 6:00~15:00
(日・祝は7:00~15:00)
定休日 | 火曜日
席 数 | 50席
駐車場 | 12台



「今月のコーヒー」として、元気なお店づくりにいかがですか？

9月のおすすめ

コーラルマウンテン

—— コスタリカ共和国



苦味・酸味・甘味のバランスが取れた優しい味わいのコーヒー

コスタリカ共和国は中央アメリカ南部に位置する国で、南は太平洋、北はカリブ海に面しています。コスタリカという国名は、スペイン語で「豊かな(Rica)海岸(Costa)」を意味します。この名前は、コロンブスがこの地に上陸した際に遭遇した先住民が金製の装飾品を身につけていたことから名付けられました。コーラルマウンテンは、コスタリカの首都・サンホセの南、標高1,200mの高原地帯にあるコラリージョ村で栽培されており、この地域はコスタリカを代表するコーヒーの名産地として知られています。晴天の日には、農園の森の木々がカリブ海の珊瑚礁のような美しい藍色に見えることから名付けられたコーラルマウンテンは、苦味・酸味・甘味のバランスが取れた優しい味わいのコーヒーです。



抽出方法 ペーパー サイフォン ネル

詳しくは営業担当までお問い合わせください。



ボン・ボヤージュ

コーヒー新時代を目指して -68-

先月号では、厳選されたブラジル産コーヒー豆の販促を目的に発足した団体「コロラド会」について触れたが、1970年代当時の日本には、大小あわせて約500社の焙煎業者が存在していた。そこで私たちは、そのうち200社にコロラド会へ加盟してもらうことを目標に活動を進めていった。

この活動の一環として、ブラジルの産地の最新情報やコロラド社の商品を紹介する月1回の会報誌「コロラド会報」を発刊する運びとなった。

さらに大きな注目を集めたのが、「ブラジルで最高のコーヒー品質鑑定士」の称号を得た小室博昭氏による産地事情講演会である。この講演会は全国7都市で開催され、いずれの会場も100人を超える来場者が集まる盛況ぶりだった。

また、年に1回、3週間にわたる「ブラジル産地研修」も実施し、毎回およそ70名が参加した。こうした一連の取り組みによって、日本におけるコーヒー品質に関するレベルは飛躍的に向上したと推察している。

(会長 服部卓也)

編集長の
独り言

7月に入り、連日のように熱中症警戒アラートが発表されるなど、危険な暑さが続いていますね。我が家の年季の入った自家用車のエアコンは効きが悪く、走り出してしばらくは送風口から熱風が噴き出てきます。しかし、いつも「とうとう壊れたか？」と疑い始めた頃になってようやく冷風に変わります。果たして、こんな状態で我が家はこの猛暑を無事に乗り越えられるのでしょうか…。